

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンウッド

コード番号 8903 URL <http://www.sunwood.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐々木 義実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画・財務部長

(氏名) 澤田 正憲

TEL 03-5425-2661

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,581	△16.1	△398	—	△478	—	△483	—
26年3月期第3四半期	4,267	△29.9	△241	—	△362	—	△349	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△100.42	—
26年3月期第3四半期	△88.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	11,917	2,922	24.4	604.44
26年3月期	9,263	3,526	37.9	729.99

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 2,911百万円 26年3月期 3,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				25.00	25.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	7.0	260	△14.4	112	△37.4	100	△47.6	20.77

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	4,894,000 株	26年3月期	4,894,000 株
27年3月期3Q	77,844 株	26年3月期	83,844 株
27年3月期3Q	4,813,101 株	26年3月期3Q	3,937,458 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、当第3四半期累計期間において、「国立ガーデンテラス」「大磯シーサイドヒルズ」及び「レーベン町田フロントテラス」等の引渡しを行い、売上高は3,581百万円（前年同期比16.1%減）となりました。また、販売委託費が増加したこと等により、販売費及び一般管理費は1,018百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、営業損失398百万円（前年同期は営業損失241百万円）、経常損失478百万円（前年同期は経常損失362百万円）、四半期純損失483百万円（前年同期は四半期純損失349百万円）となりました。売上総利益率は17.3%で前年同期とほぼ横ばいになりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントの区分及び名称を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替え、比較しております。

また、各セグメントのセグメント利益は、売上総利益ベースの数値であります。

#### ①不動産開発販売事業

主要セグメントである不動産開発販売事業においては、「国立ガーデンテラス」「大磯シーサイドヒルズ」及び「レーベン町田フロントテラス」等を引渡しました。10月に竣工した郊外型のコンセプト物件である「大磯シーサイドヒルズ」につきましては、当第3四半期会計期間より一部住戸の売上が計上されておりますが、物件特性及び市況をとらえた上で、継続的な販売活動を行っております。「レーベン町田フロントテラス」は、株式会社タカラレーベンとの共同事業として初めての引渡しであります。この結果、売上高は2,995百万円（前年同期比23.4%減）、セグメント利益は511百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

なお、当期の売上は「サンウッド代官山猿楽町」及び上記竣工済物件の引渡しを予定している第4四半期に集中する計画となっております。

#### ②リノベーション事業

リノベーション事業においては、中古マンションの取得、改修、販売に注力しました。この結果、売上高は474百万円（前年同期比103.4%増）、セグメント利益は46百万円（前年同期比72.5%増）となりました。増収となった主な要因は、当事業は前期首から開始した事業であるため、前年同期では販売物件が少なかったことによるものであります。

#### ③その他

リフォーム、仲介、賃貸等のその他に含まれる事業の売上高は111百万円（前年同期比10.9%減）、セグメント利益は61百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は11,917百万円となり、前事業年度末に比べ2,653百万円増加しました。これは主に現金及び預金が1,027百万円減少したものの、たな卸資産が3,611百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は8,994百万円となり、前事業年度末に比べ3,257百万円増加しました。これは主に新規事業用地の取得等に伴い、借入金が3,206百万円増加したことによるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,922百万円となり、前事業年度末に比べ603百万円減少しました。これは主に四半期純損失の計上及び剰余金の配当によるものであります。自己資本比率は24.4%となり、前事業年度末比13.5ポイント減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における「現金及び現金同等物」(以下「資金」という。)は1,027百万円となり、前事業年度末に比べ963百万円減少しました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は4,264百万円(前年同期は1,506百万円の使用)となりました。これは、四半期純損失の計上、たな卸資産の増加により資金が減少したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において投資活動の結果取得した資金は66百万円(前年同期は151百万円の使用)となりました。これは、定期預金の払戻により資金が増加したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果取得した資金は3,234百万円(前年同期は939百万円の取得)となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の借入れにより資金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に「平成26年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(表示方法の変更)

(四半期損益計算書)

従来、資金調達に係る金融機関等への手数料については、販売費及び一般管理費に含めて表示しておりましたが、第1四半期会計期間より、営業外費用の「資金調達費用」として表示する方法に変更しております。

これは、当該費用が増加傾向にあること及び支払利息と資金調達費用を合算した金額を資金調達の判断指標としていることから、取引実態及び損益区分をより適切に表示するために行ったものであります。この表示変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書において、販売費及び一般管理費に含めて表示していた8,202千円は、営業外費用の「資金調達費用」として組み替えております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書)

従来、資金調達に係る金融機関等への手数料については、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりましたが、第1四半期会計期間より、独立掲記しております。

これは、当該費用が増加傾向にあること及び支払利息と資金調達費用を合算した金額を資金調達の判断指標としていることから、取引実態及び計上区分をより適切に表示するために行ったものであります。この表示変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期累計期間の四半期キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示していた△8,555千円は、「資金調達費用」8,202千円、「資金調達費用の支払額」△16,758千円として組み替えております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,155,667	1,128,071
営業未収入金	128,617	149,868
有価証券	—	10,006
販売用不動産	684,166	2,162,283
仕掛品	5,655,776	7,788,978
役員に対する短期貸付金	44,400	34,200
その他	58,218	119,694
流動資産合計	8,726,846	11,393,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	235,114	235,114
減価償却累計額	△23,770	△28,168
建物及び構築物(純額)	211,344	206,946
工具、器具及び備品	15,846	17,306
減価償却累計額	△12,266	△12,462
工具、器具及び備品(純額)	3,579	4,843
土地	205,297	205,297
有形固定資産合計	420,221	417,087
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	15,511	5,500
その他	95,374	96,895
投資その他の資産合計	110,886	102,395
固定資産合計	536,974	524,318
資産合計	9,263,821	11,917,420

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	211,072	26,364
短期借入金	142,636	1,496,835
1年内返済予定の長期借入金	1,918,000	3,018,160
1年内償還予定の社債	—	48,000
未払法人税等	9,407	3,266
前受金	313,522	455,110
引当金	42,635	20,453
その他	106,774	89,967
流動負債合計	2,744,048	5,158,156
固定負債		
社債	—	102,000
長期借入金	2,834,500	3,586,200
引当金	68,728	71,296
その他	90,305	77,106
固定負債合計	2,993,534	3,836,602
負債合計	5,737,582	8,994,759
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,587,317	1,587,317
資本剰余金	1,434,720	1,433,183
利益剰余金	557,085	△46,498
自己株式	△67,762	△62,913
株主資本合計	3,511,360	2,911,088
新株予約権	14,878	11,572
純資産合計	3,526,238	2,922,661
負債純資産合計	9,263,821	11,917,420

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,267,825	3,581,572
売上原価	3,528,647	2,961,766
売上総利益	739,178	619,806
販売費及び一般管理費	980,928	1,018,790
営業損失(△)	△241,750	△398,984
営業外収益		
受取利息	1,420	1,071
違約金収入	2,400	3,000
受取保険金	—	10,000
雑収入	561	4,153
その他	43	1,114
営業外収益合計	4,425	19,339
営業外費用		
支払利息	74,945	78,942
資金調達費用	8,202	18,532
社債利息	—	255
社債発行費	—	1,363
株式交付費	42,454	—
営業外費用合計	125,602	99,093
経常損失(△)	△362,927	△478,738
特別利益		
新株予約権戻入益	17,889	—
特別利益合計	17,889	—
特別損失		
固定資産除却損	2,781	2,874
特別損失合計	2,781	2,874
税引前四半期純損失(△)	△347,819	△481,612
法人税、住民税及び事業税	1,717	1,717
法人税等合計	1,717	1,717
四半期純損失(△)	△349,537	△483,329



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△347,819	△481,612
減価償却費	8,283	7,479
引当金の増減額(△は減少)	△139,832	△19,613
受取利息及び受取配当金	△1,420	△1,071
支払利息及び社債利息	74,945	79,197
資金調達費用	8,202	18,532
受取保険金	—	△10,000
売上債権の増減額(△は増加)	△2,175	△21,250
販売用不動産の増減額(△は増加)	△1,590,118	△1,478,116
仕掛品の増減額(△は増加)	△52,183	△2,133,202
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,995	△184,707
前受金の増減額(△は減少)	683,692	141,587
その他	11,709	△83,771
小計	△1,355,711	△4,166,549
利息及び配当金の受取額	1,304	956
利息の支払額	△74,554	△79,626
資金調達費用の支払額	△16,758	△28,145
保険金の受取額	—	10,000
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△60,391	△1,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,506,109	△4,264,521
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△167,000	△108,000
定期預金の払戻による収入	6,000	172,000
有形固定資産の取得による支出	△5,796	△5,638
貸付けによる支出	△35,000	—
貸付金の回収による収入	70,098	10,200
敷金の差入による支出	△14,918	△3,917
敷金の回収による収入	320	2,413
その他	△5,200	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△151,496	66,858
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△158,116	1,354,199
長期借入れによる収入	2,470,000	3,273,000
長期借入金の返済による支出	△1,856,000	△1,421,140
社債の発行による収入	—	148,636
株式の発行による収入	598,545	—
配当金の支払額	△112,928	△120,144
リース債務の返済による支出	△1,811	△490
その他	△28	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	939,662	3,234,067
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△717,943	△963,595
現金及び現金同等物の期首残高	1,710,020	1,990,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	992,076	1,027,071

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	不動産開発販売事業	リノベーション事業		
売上高				
外部顧客への売上高	3,909,200	233,473	125,150	4,267,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,909,200	233,473	125,150	4,267,825
セグメント利益	657,751	26,980	54,445	739,178

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム、仲介、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	不動産開発販売事業	リノベーション事業		
売上高				
外部顧客への売上高	2,995,311	474,798	111,462	3,581,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,995,311	474,798	111,462	3,581,572
セグメント利益	511,648	46,548	61,609	619,806

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム、仲介、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間から、「その他」に含まれていた「リノベーション事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、第1四半期会計期間から、報告セグメントの名称を従来の「不動産事業」から「不動産開発販売事業」へ変更しております。当該変更については、名称のみの変更であり、これによるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。